

平成28年度 犬山「子ども大学」 実施状況報告書



主催：(特) 犬山しみんていの会

目次

はじめに

1. 犬山「子ども大学」の充実、発展にむけて

2. 講座別参加状況

3. 各講座の紹介

<犬山市委託事業>

- ① 国際理解 世界をめぐる子ども達
- ② 日本文化にふれよう！“お茶・お花”
- ③ 生き物探検隊 パートⅠ
- ④ 生き物探検隊 パートⅡ
- ⑤ サイエンス 電子工作
- ⑥ 君も エジソンになれる！
- ⑦ はじめての 楽しい陶芸
- ⑧ 囲碁・将棋たいけん教室
- ⑨ 伊勢型紙“やさしい 型紙づくり と 型ぞめ”
- ⑩ 楽しく 絵をかこう
- ⑪ やさしい 絵画教室
- ⑫ 和太鼓を たのしく たたこう！
- ⑬ 押し花で ものづくり
- ⑭ 楽しもう！！レクスポーツ
- ⑮ 冒険教室 ～基礎コース～
- ⑯ 子どもの自然教室 午前の部
- ⑰ 子どもの自然教室 午後の部

<犬山しみんていの会自主事業>

- ① 犬山原始人クラブ

<「AJOSC」全日本社会貢献団体機構助成事業>

- ① 生き物探検隊 クライマックス
- ② 冒険教室 ～上級コース～

4. アンケート調査結果

5. 子ども大学運営委員会名簿

1. 犬山「子ども大学」の充実、発展にむけて

(特) 犬山しみんていの会コーディネイター

犬山子ども大学運営委員会委員長 川島紀之

犬山子ども大学は、犬山市教育委員会が平成14年度から学校週休2日制への対応策として始めました。当会は、平成15年9月にNPO法人を取得した機会に、犬山市教育委員会へ提案を行い、それを受け入れてもらい平成16年度から委託を受け実施することになりました。

平成28年度は、20講座453名です。ここ数年やや受講者が減ってきていましたが、28年度は大きく増加しています。(平成27年度20講座415名、26年度20講座420名、25年度20講座421名、24年度22講座431名、23年度21講座453名、22年度は22講座473名、21年度21講座408名、20年度22講座436名、19年度17講座362名、18年度18講座363名、17年度15講座287名、16年度13講座196名)

28年度の特徴は、「生き物探検隊クライマックス」(活動時間一日4回)、「犬山原始人クラブ」一日活動10回、「冒険教室～上級編～」(一日活動4回、一泊二日3回)です。3教室で54名と多くなっています。指導者は、子ども達が1年間のあいだに一回り大きく見えるようになったと言っています。

私は、子ども達の世界から集団による遊びがなくなったことが、子ども達に多くの問題を引き起こしている主因と考え、その方策として子ども達に、友達づくりになることの機会＝体験の場を数多く作って来ました。

当会では、子ども大学の講座を行う上で、次のことを大切にしています。

- 1 子ども達が、学校・家庭でできない体験をすることによって、感動と達成感を味わって欲しいこと⇒感動と達成感の場の提供
- 2 保護者及び多くの方に、体験活動＝“遊び“が、子どもの成長にとって”かけがえのない宝物“であることの普及をはかること⇒体験活動の大切さの普及
- 3 少子化社会の中で、各地域で子どもの健全育成を進めていく土壌づくりに寄与していくことができたら嬉しいと考えています⇒地域での青少年健全育成の場の拡充

参加者数が着実に増加していることは、保護者の方々が、私が考えている『子どもの将来にとって体験活動の大切さ』を十分理解していただいていることの現われと考えています。

おわりに、この子ども大学にご協力いただいている指導員・講師の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



☆活動成果発表会 平成28年2月7日(日)

2. 講座別参加状況

[学校別]

	楽田小	羽黒小	東小	南小	西小	北小	城東小	今井小	池野小	栗栖小	城東中	犬山中	東部中	南部中	市外小中	小計
犬山市委託																
①	国際理解	2	9		1	3	6	10							1	32
②	お茶お花	5	1	2	3	2	4	1							1	19
③	生き物探検隊Ⅰ	6		1		2	6	5							8	28
④	生き物探検隊Ⅱ	4	2		3		2	2							6	19
⑤	電子工作	2	2	2	1	1	7	2				1			2	20
⑥	エジソン	3	5	1	3	3	8	4		3					1	31
⑦	楽しい陶芸	1	3		2	1	6	4		4					2	23
⑧	囲碁将棋		3	1	2	4	12	3		1	1				2	29
⑨	伊勢型紙	2		1	2	1	3	5								14
⑩	楽しく絵	4	3	5	1	5	2	4		1					1	26
⑪	やさしい絵	2	1	1		7	9	4		1						25
⑫	和太鼓	3		1	2	3	1	5								15
⑬	押し花	1	1		4	4	5	5							2	22
⑭	レクスポーツ	5	1	4	2	5	4	7		4					2	34
⑮	冒険教室基礎	4	2	1	2		3	1		3					1	17
⑯	自然教室AM				2	9	4	6							2	23
⑰	自然教室PM	1	1	1		8	4			1					6	22
犬山しみんていの会自主事業																
⑱	原始人	1	1	1		1	4	1							9	18
「AJOSC」全日本社会貢献団体機構助成事業																
⑲	生き物クライマックス			2	6										8	16
⑳	冒険教室上級		7				6	3		2					2	20
	計	46	42	24	36	59	96	72	0	20	1	0	1	0	56	453

〔学年別〕

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中1年	中2年	中3年	計
犬山市委託											
①	国際理解	8	8	6	6	2	2				32
②	お茶お花	2	3	6	6	2					19
③	生き物探検隊Ⅰ		14	6	6	1	1				28
④	生き物探検隊Ⅱ		1	8	6	4					19
⑤	電子工作				7	7	5			1	20
⑥	エジソン	9	12	3	4	1	2				31
⑦	楽しい陶芸	3	8	5	1	3	3				23
⑧	囲碁将棋	6	11	4	3	3	2				29
⑨	伊勢型紙	3	2	3	2	4					14
⑩	楽しく絵をかこう	8	9	6	2		1				26
⑪	やさしい絵画教室	7	9	2	4	2	1				25
⑫	和太鼓		1	7	3	2	2				15
⑬	押し花	3	3	5	4	4	3				22
⑭	レクスポーツ	7	7	4	5	6	5				34
⑮	冒険教室基礎			7	6	3	1				17
⑯	自然教室AM	8	8		5	2					23
⑰	自然教室PM	9	7	1	5						22
犬山しみんていの会自主事業											
⑱	原始人				13	2	3				18
「AJOSC」全日本社会貢献団体機構助成事業											
⑲	生き物クイズ			1	5	6	3	1			16
⑳	冒険教室上級				7	9	4				20
計		73	103	74	100	63	38	1		1	453

3. 各講座の紹介

<犬山市委託事業>

①□ 国際理解 “世界をめぐる子ども達” 参加者数：32名

指導員：松本里美・齋藤知子〔(特) シェイクハンズ〕, 外国人講師

内容：まだ見ぬ国に出会おう！！ “ジンバブエの子ども”と遊んだり、“サマーキャンプ”あり、“なごや地球ひろば”やペルー領事館にも訪問。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～11時30分（原則）

回	月日	内容
①	6/18	レッツ城下町、レッツアフリカン！
②	7/16	ペルーの食と文化を知ろう
③	8/7	犬山の伝統文化にふれよう 尾張富士 石上げ祭に参加
④	8/13	宿泊交流会 ワールドミニキャンプ
⑤	～8/14	「僕たちの多文化体験」多文化ワールドキャンプ
⑥	9/17	インドカレーと、ヘンプで絵(タトゥ)の体験
⑦	10/11	ペルー領事館の訪問と、JICAなごや地球ひろば
⑧	12/11	フロイデまつりで民族衣装のファッションショー
⑨	1/14 AM	中国の手づくり餃子で旧正月を楽しもう
⑩	1/14 PM	

講師コメント

- ・今年も32名という大所帯で活動しました。全体的に欠席が少なく、いつもおとなしい男の子が、比較的活発に参加してくれて嬉しかったです。
- ・JICA地球ひろばでは、本当にたくさんの質問をして、また世界には水も飲めない地域や、子どもが病気で死んでしまう地域、学校に行けない地域がある事を学んでいました。また、ペルーの領事館のお役人の方に優しくして頂き、普通は入れないエリアにも入る事ができて喜んでいました。
- ・城下町では初めてジンバブエの人とも交流しました。6月の暑い日でしたが、みんな最後まで楽しんでいました。
- ・今年の子達の良いところはがまん強く仲の良いところ。キャンプなどでも喧嘩や良い争いなど全くなくて良かったと思います。
- ・最初の回で話したのですが、「隣の人を越えて、国際理解や交流はないよ。まずはみんなとお友だちになってネ」を守ってくれて、グループ活動する時も、とてもスムーズに協力し合って活動できていました。

参加者感想

- ・国際理解は、世界の食べ物を味わったり、犬山の城下町を歩いたり、ふだんは入れない所に入ったり、他にもいろいろな体験をさせてもらって、とてもいい勉強をさせていただきました。友達もたくさんできたし、やさしくしていただいて、とても感謝しています。
- ・外国の料理を作って食べたり、ほかの国のことを楽しく勉強できるので参加するのが楽しみ。
- ・お料理とか色んなものを作るのが楽しいです。



②日本文化にふれよう！お茶・お花

参加者数：19名

指導員：鵜飼宗悠、小島美喜子〔犬山市文化協会茶華道部〕今枝由希、藤原香代、宮地友子、酒井佐智子
内容：季節のお茶お菓子をいただきながら、感謝の心や礼儀作法を身につける。

お花にふれて季節を感じ、いのちの大切さを学ぶ。

対象学年：小学1年生～6年生

活動時間：午前9時30分～11時30分

回	月日	内容
①	6/11	・基本動作（おじぎの仕方、立ち方、歩き方、座り方 他） ・お抹茶、和菓子のいただき方
②	6/25	・お点前の基本練習（ふくさ、茶器などの扱い方） ・お抹茶の点て方、和菓子の出し方
③	7/2	・お茶の歴史 ・お点前の基本練習 ・お客様の練習
④	7/16	・お盆でお点前 ・お客様の復習
⑤	7/30	・ミニ茶会を開きましょう
⑥	10/8	・初めてのいけ花 水上げのしかた（紙パックを使って）
⑦	10/22	・いけ花のバランス（花器、ケン山を使って）
⑧	11/12	・季節の花をおぼえましょう（花器、ケン山を使って）
⑨	11/26	・生け花で「ありがとう」プレゼントのお花
⑩	12/10	・行事の花をいけましょう クリスマスリース

講師コメント

鵜飼宗悠

- ・ 1回2時間（正味1時間45分）5回の稽古で子ども達がどれだけの事を学んでくれたか、カリキュラムに添って行いましたが、お点前の作法をマスターすることはとても無理でした。
- ・ 挨拶、お辞儀の仕方、抹茶の点て方、いただき方、お菓子の取り方、立ち方、座り方、歩き方等、基本的所作を重点に重ねて稽古をし、ミニ茶会につなげました。
- ・ ミニ茶会では、踞躑を使い、にじり口から入り茶室の体験が出来てよかったと思います。
- ・ また、ミニ茶会は子ども達の発表会です。ご家族、お友だちに大勢来ていただき大張り切りでした。



小島美喜子

- ・ 久しぶりに「お花」の担当でしたが、子ども達の楽しそうな姿にやりがいを感じた。
- ・ 学校行事以外では欠席者の数も少なく、花に対しての優しい気持ちが子ども達にも伝わったような気がする。
- ・ 毎回違った題目の作品作りは、子ども達に新鮮さを感じてもらえたと思う。



参加者感想

- ・ お茶では抹茶がすきで、さいしょはにがいと思っていただけ、思ったよりがくなくて、お花ではオアシスにさしていくのが気持ちよくてお花をやるのが楽しかったです。
- ・ お茶では去年よりふくささばきや、お茶をたてるのも上手になりました。上手に出来てほめられると、とてもうれしいし、楽しかったです。お花でも去年よりいけるのが上手になってうれしかったです。そして去年ではやらなかった、マグカップとオアシスを使って犬を作るというのが楽しかったです。2つとも去年よりレベルアップできたし、色んな人と楽しくできたので良かったです。

③生き物探検隊 パート I

参加者数：28名

指導員：宮田賢輔〔(特) トンボと水辺環境研究所〕 宮田恵里, 小寺星吾

内容：昆虫採集や標本づくり、魚とり大会や生き物の飼育の仕方を勉強し、自然の基礎を学びます。

対象学年 小学2年生～中学3年生

活動時間 午前10時～12時

回	月日	テーマ	内容
①	6/19	トンボ講座	トンボについて知ろう！
②	7/16	昆虫採集	どんな虫が見つかるかな？
③	7/17	昆虫の標本作り	標本の作り方
④	8/14	魚の飼育セットを作ろう	ミニビオトープのしくみ
⑤	8/21	がさがさ大会	川の魚や生き物をとろう
⑥	9/4	苔玉をつくろう	苔玉の役割や、作り方、育て方
⑦	10/15	鳴く虫を捕まえよう	どんな鳴き声？
⑧	11/13	カブトムシ講座	カブトムシの一生と、飼育の仕方
⑨	12/18	ストーンペインティング	どんな石？ 何を描く？
⑩	12/25	冬眠している生き物を探そう	どんな生き物が見つかるかな？

講師コメント

- ・ 今年は大長雨や暖冬で、特に昆虫が影響を受け、数が少なかったり、発生時期がずれたりして大変でした。
- ・ 毎年異常気象といわれ、異常気象が普通？になってきました。でもそんな中でも参加者のみんなはそれぞれ魅力的な物を見つけ楽しんでいました。みんな目を輝かせ本当に生き生きしていましたね。
- ・ でも楽しいだけでなくいつもいつか来たことは、人間は生き物達に支えられているのだということ。
- ・ 多種多様な自然、生き物があるこの犬山を守っていくのは僕達地域の人間の使命です。
- ・ 勉強したことをいかして、小さなできることをさがして、自ら行動してくれたらとても嬉しいです。
- ・ この教室に参加した子たちは知らない間に生き物を守ることを学んでいます。どの生き物がどんなところにいて、何を食べて、どういう風に繁殖して、死んで・・・いろんなことを体験を通して知ったからです。知っていれば守ることができる。簡単なことなのです。そう私たちが捕まえてきたのは「僕らの地球の未来」なのです！！



参加者感想

- ・ いろいろな生き物とふれあえることが、とてもたのしくて、とてもワクワクするのでたのしいです。
- ・ いろんな虫をみて、つかまえて、いい体験になりました。学校では虫をさわられる人がそんなにいないし、虫もそこまでいないので犬山にいて、とっても幸せでした。
- ・ ふだんなかなか手に入らない虫とかが野山でたくさん見つけられたりできることがとても楽しいです。
- ・ しらないことや知っていることがあり、むしもいっぱいつかまえたのでとても楽しくできました。

④生き物探検隊 パートⅡ

参加者数：19名

指導員：宮田賢輔〔(特) トンボと水辺環境研究所〕 宮田恵里, 小寺星吾

内容：自分で竿を作って魚をつったり、真夜中に昆虫をとったり、川の生態調査、爬虫類や両生類など少し専門的な自然体験を経験します。

対象学年：小学3年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時（宿泊もあり）

回	月日	テーマ	内容
①	6/12	隊員バンダナを作ろう	植物で染める
②	7/17 18時～	真夜中の昆虫採集 クワガタムシ講座	昆虫採集の仕方（ライトトラップ） クワガタの取り方・飼い方
③	7/18 7時～		
④	7/24	チョウの昆虫標本作り	チョウの昆虫標本の作り方
⑤	7/30	釣りざおを作ろう！	釣りざおの作り方
⑥	7/31	釣りをしてみよう！	釣りの仕方
⑦	8/27	両生類について知ろう！	両生類とは？・両生類が住める環境
⑧	9/11	爬虫類について知ろう！	爬虫類とは？・爬虫類が住める環境
⑨	9/25	川の上流の生き物調べ	上流の川の特徴 ※協力:入鹿森林愛護組合
⑩	10/2	川の中流の生き物調べ	中流の川の特徴

講師コメント

- ・ 今年は長雨や暖冬で、特に昆虫が影響をうけ、数が少なかったり、発生時期がずれたりして大変でした。
- ・ 毎年異常気象といわれ、異常気象が普通？になってきました。でもそんな中でも参加者のみんなはそれぞれ魅力的な物を見つけ楽しんでいました。みんな目を輝かせ本当に生き生きしていましたね。
- ・ でも楽しいだけじゃなくいつもいつてきたことは、人間は生き物達に支えられているのだということ。
- ・ 種類多様な自然、生き物がいるこの犬山を守っていくのは僕達地域の人間の使命です。
- ・ 勉強したことをいかして、小さなできることをさがして、自ら行動してくれたらとても嬉しいです。
- ・ この教室に参加した子たちは知らない間に生き物を守ることを学んでいます。どの生き物がどんなところにいて、何をたべて、どういう風に繁殖して、死んで・・・いろんなことを体験を通して知ったからです。知っていれば守ることができる。簡単なことなのです。そう私たちが捕まえてきたのは「僕らの地球の未来」なのです！！



参加者感想

- ・ ちしきが多くてそれをおもしろくせつめいしてくれたのがよかった。
- ・ 犬山が森とかのしぜんが多いことをあらためて思いました。
- ・ 魚をつかまえるのは、むずかしいとおもった。
- ・ たくさんの生き物をつかまえて、楽しかった。
- ・ いろんな生き物とふれあえるところがたのしい。
- ・ 学校や家などでは、できないことができるから、とても楽しい。



⑤サイエンス 電子工作

参加者数：20名

指導員：永井末男〔草の根電子工作〕， 中原忠義， 日比野賢二

内容：電池を使用しない鉱石ラジオからP I Cマイコン使用のテレビゲームまでを学んで作ります。

対象学年：小学4年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～11時30分

回	月 日	内 容
①	6/11	部品値の見方、部品の使用法、加工方法。ハンダ付けの練習
②	6/18	ハンダ付けの練習 TTL-IC使用サイコロの作成 ・プリント基盤の部品取付から動作まで
③	7/2	
④	7/16	
⑤	7/30	
⑥	8/6	コンピュータ使用のテレビゲーム作成
⑦	8/27	
⑧	10/22	
⑨	10/29	
⑩	11/12	

講師のコメント

- ・ アイデアと作る物も大変でしたが、皆さんが楽しめるような講座内容にしていきたいです。

参加者感想

- ・ 電子サイコロやパックマンを楽しく作れるので良かったです。
- ・ すごく細かい作業をやったので、つかれはてたこともあったけど楽しかった。
- ・ 学校では、こういう体験はできないので面白いです。でも、むずかしいこともあったりハンダづけができなかったりして苦労することもあります。
- ・ むづかしいけど楽しいし、家でも学校でもできないことができるから、やってよかったと思う。
- ・ パックマンは楽しいけど、ボードにいろいろなものをつけるのがむずかしい。



⑥君も エジソンになれる！

参加者数：31名

指導員：若杉廣己〔グリーンマップ犬山〕、正垣敏三、三宅壯一郎

内容：子ども達の創造力・自立力・協調力を引き出すため、一人で考え作るもの、みんなで協力して「ソーラーカー、ペットイカダ、ホバークラフト」を作る

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～12時

回	月 日	テ ー マ	内 容
①	6/4	太陽はあつい	ソーラーレンジ
②	7/2	光はすごい	ソーラーカー
③	7/23	光はすごい	ソーラーカー組み立て
④	7/30	光はすごい	ソーラーカー運転
⑤	8/13	水のちから	ペットイカダ
⑥	9/3	水のちから	ペットイカダレース
⑦	10/1	動くかな？	蒸気エンジン
⑧	11/5	空気のちから	ペトロケット
⑨	12/3	空気のちから	ホバークラフト
⑩	1/7	風のちから	鳥凧・江戸凧づくり

講師のコメント

- ・ ソーラーカーではボディデザインとスプレーが人気だ。また自分たちで作った車を進んで修理したり、自分たちの車が走り達成した事で走行後の車体解体は楽しそうだ。
- ・ イカダレースであるグループがプールの中の走行（左右のバランスでオールの漕ぎ方）でチームワークの悪さをプールから上がりみんなで検討する様子が見られた、結果はかわらず。
- ・ ロボットでは個々の熱中度と協力や教える様子や完成度より動き出す喜びを見る。ホバークラフトではグループがバラけて、まだやる気十分な子が取り残される、残念に思う。
- ・ 最後の風のちからでは、みんなから遅れて投げやりになった子が、一言の言葉でもう一つの凧を進んで作り揚げに行った。自身の壁を越えたように思えた。
- ・ 子どもたちがいろんな体験をして学んだ事で、大きく成長したと思う。

参加者感想

- ・ 回を重ねるにつれてどんどん楽しくなってきました。
- ・ とても楽しかったです。来年もやりたいです。
- ・ つくって、たのしいなっておもった。
- ・ ソーラーカーが楽しかった。
- ・ 自分だけでは出来ない体験が出来てよかった。



⑦はじめての 楽しい陶芸

参加者数：23名

指導員：尾関邦彦・尾関大〔尾関陶芸教室〕

内容：基本の作り方をしっかり学び作品を作ります。

ひと通り作ったら、気に入った作品を、さらに2個ほど作ります。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～12時

回	月日	タイトル	内容
①	6/4	基本を学ぶ	カップとお皿
②	6/18		仕上げ
③	7/2		茶碗とお鉢
④	7/16		仕上げ
⑤	7/30		花瓶とタタラの皿
⑥	8/27	応用制作	これまで作った中で、好きなものを2つ作る
⑦	9/3		仕上げ
⑧	9/17		
⑨	10/1	絵付け	
⑩	11/5	完成品発表会	

講師コメント

- ・ 今年、数年ぶり2回目の参加の子や先輩のお子さんが参加してくれました。おかげさまで和やかな雰囲気です。1回目から始めることが出来ました。
- ・ 子ども達が作った作品は、カップ、ソーサー、ごはん茶碗、お鉢、抹茶碗、徳利、花瓶、タタラ成型のお皿です。
- ・ 前半でこれらの作品を作り、後半で好きなものを2個程度、自分で考えて作りました。
- ・ 成果発表会では1人2個程度の作品を展示させて頂き、子ども達の成果をご覧いただきました。
- ・ 色付けも子ども達らしいのびのびとした素敵な色使いです。



参加者感想

- ・ 先生がおもしろくて、つくるときもかくにんできてやりやすかった。
- ・ 陶芸は、作るのはいへんだけど、とても楽しい。
- ・ 家や学校ではできない体験ができてとても楽しい。
- ・ あまりできない体験で、自分の好きな柄や形を作ることができて楽しかったし、ろくろ体験もできてよかったです。
- ・ さいしょ、とてもきんちょうして、ぜんぜん出来ないと思っていたけど、すごくむずかしいってわけじゃなくてとても上手に出来た。
- ・ いろいろな物を作って、いろいろなものができてうれしかったし楽しかった。
- ・ コップやお皿の作り方はいっしょだと思っていたけどぜんぜんちがってびっくりした、土の中に空気が入ったらだめということがわかりました。
- ・ 陶芸教室はむずかしいと思ったけど、やっていくうちにできるようになってよかったとおもいました。



⑧囲碁・将棋たいけん教室

参加者数：29名（囲碁10人、将棋19人）

指導員：西尾晴孝・水野忠治〔しみんてい囲碁将棋体験教室〕河田和夫、鶴木廣

内容：日本の代表的なゲームをたいけんし、自分で考える力をやしない、友達をつくり、家族との絆を強める。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時

回	月日	内容
①	6/5	<ul style="list-style-type: none"> 対局するときのマナーについて 初心者に対して、対局の始め方、終わり方、基本ルールの説明 各自の希望や目標についての聞き取り 必要に応じてクラス分けを実施
②	6/19	各回の進め方 <ul style="list-style-type: none"> 前半は、テキストを使い基本について説明する。 後半は、実戦対局、順次指導対局を行う。 <囲碁> 初級：石の取り方。石の生き、死に。石のつながりかた。陣地のかぞえかた。 中級：つよい石とよわい石。攻め方と守り方。やさしい定石。詰め碁。 <将棋> 初級：駒の動かしかた。王のかこいかた。 中級：各種の戦法。終盤の考えかた。詰め将棋。
③	7/3	
④	7/17	
⑤	8/7	
⑥	8/21	
⑦	9/4	
⑧	9/18	
⑨	10/2	
⑩	10/16	
⑪	11/6	
⑫	11/20	
⑬	12/4	

講師コメント

- ・ 今年には親が子どもと一緒に勉強している親子が何組もあり、家庭内でのコミュニケーションに役立っていると感じられた。
- ・ また将棋の参加者19人のうち低学年が13人と7割をしめていた。
- ・ 囲碁では、6年連続で参加してくれた6年生の子がいた。今年には例年に比べて囲碁の参加者が2倍に増え、今後がたのしみである。

参加者感想

- ・ あっという間の6年間でした。なかなかじょうずになれませんが、人に「しゅみはなんですか?」と聞かれたら「囲碁です」と、やっと言える気持ちになれました。ありがとうございます。
- ・ いろいろな人とやっておもしろかったです。
- ・ 家族でやるのと違い、他の子や友達とやる将棋はまたおもしろい!
- ・ 将棋はいろいろな攻め方があり、すごいと思いました。
- ・ 将棋は前からやっていた楽しい。
- ・ 将棋はやったことがなくて、やってみたら楽しかったです。



⑨伊勢型紙 彫りと染め

参加者数：14名

指導員：高津京子〔伊勢型紙京彩会〕、齊藤裕未、佐波文子、高津絹世

内容：子どもでも作れるものを、最初はゆっくりといねいに楽しみながら作ります。

すぐなれて喜んで作れるようになります。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時

回	月日	内容
①	6/11	型紙作り 花(あやめ)の柄
②	6/25	型紙作り 花(さくら)の柄
③	7/9	刷毛染め ちょうちょ、金魚、ひまわりなどの柄①
④	7/23	刷毛染め ちょうちょ、金魚、ひまわりなどの柄②
⑤	8/6	型紙作り さる(えと)の柄
⑥	1/21	刷毛染め 赤トンボと、花いろいろ
⑦	1/28	刷毛染め すず虫、くわがた、花

講師コメント

- ・ 今年の生徒さんは、4年生が多くとてもやり易かったです。皆さんとても大人顔負けの熱心さで、とてもやり甲斐がありました。
- ・ 型紙を使って染める印毛染も、だんだん上手にやれてよかったです。
- ・ 昨年11月には中学生のカルチャー講座に行き、以前「伊勢型紙を子どもでやった」と言う子が居たのを後日頂いた感想文の中にありました。私は何年か前の子だから覚えてなくて、成長した中学生の生徒さんでは様子も変わっていることでしょうか、「授業中に声を掛けてくれたら…」と残念でした。
- ・ 今年の子供達とはどこで逢えるか楽しみです。
- ・ 慣れた頃に終わる講座も「継続は力なり」の言葉があるように、子ども大学の経験を生かしこれからの人生に活かしてもらえたら最高です。



参加者感想

- ・ 私は細かい作業が好きなので、伊勢型紙を彫るのも染めるのもとても面白いです。きれいにできるとうれしいし、達成感があります。
- ・ 伊勢型紙は始めからすごく楽しかったです。絵具を使って模様が出来上がるのが楽しかったです。型抜きの時カッターを使って細かい作業をするのがうれしいです。
- ・ やったことが無くてとても勉強になった。色んなものを染めたり、型紙を作ったり楽しかった。家に飾って思い出にしたいです。また、出来る時があればやってみたいです。
- ・ 切り抜くのと模様を塗るのが二つ出来て楽しい。
- ・ 自分でデザインした型紙は難しかったけれど、世界に一つだけの物を作れてすごくうれしいです。
- ・ 型紙がすごくきれいで、染めもすごく楽しかった。



⑩たのしく絵をかこう

参加者数：26名

指導員：松浦茂樹・加藤林子〔楽しく絵を描こう会〕

内容：いろいろなものを描くと楽しくなる。変わったやり方で描くとおもしろくなる。

みんながちがうから、おもしろいし楽しい。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時（原則） <午後の回は13時30分～15時30分>

回	月日	テーマ	内容
①	6/12	やさいやくだもの	新しい描き方で野菜や果物をかこう
②	7/3	自分の顔	自分の顔をよく観察して描こう
③	7/17	Tシャツのデザイン	自分だけのオリジナルTシャツを作ろう
④	8/6	等身大の自分	お家の人と協力して、自分の型を取って、等身大の自画像を描こう
⑤	8/20		
⑥	9/17	たてものを描く	お城などの有名な、たてものを描こう
⑦	10/1	キャラクター	好きなキャラクターを絵に描こう
⑧	10/29	市民展の鑑賞	犬山の市民展をお家の人と鑑賞しよう
⑨	12/4	ゴッホに挑戦	ゴッホになったつもりで力強く描こう
⑩	1/15	するめ	色の違いをよく見て、スルメを描こう

講師コメント

- 今年も参加者は低学年の児童が多く、題材についてはどの学年にも取り組みやすい物を選んでいきます。
- 全員、自分の力に合わせて、精いっぱい題材に取り組んでくれました。
- それぞれが自分の感性で、自分なりに課題をとらえて作品づくりができてよかったと思います。
- 決められた題材を、それぞれの個性に合わせ、自分らしく表現できるようにしていきたい。その上で、他の作品の良さを見つけることのできる感性と目を養っていくことができるとよいと思います。



参加者感想

- やってみて楽しいし、描くのがすきになりました。
- 普段やらない書き方でかいたりするので楽しい。
- 自分の自由なテーマでできて、ポイントなどを教えてくれて、上手に出来るようになった。
- いろいろな絵をかいたり、いろんな材料をつかえるので楽しいです。じぶんのかおの絵をかいたのが、お気に入りです。
- 世界に1枚だけのTシャツをつくらうで、はじめてアイロンをつかったり、白いTシャツに絵をかいたりして、たいへんだったけど、すごくいいTシャツができたので、おもいでになりました。



⑪やさしい絵画教室

参加者数：25名

指導員：岩田義一・岩田知之〔犬山絵画教室〕

内容：絵を描くことの楽しさをみんなで体験しましょう。ひとりひとりの個性を生かす指導をていねいに行います。

対象学年：小学1年生～小学6年生

活動時間：午前10時30分～12時

回	月 日	内 容
①	6/4	自分の顔の絵または、家族の顔の絵
②	6/18	好きな動物の絵（図鑑参照）
③	7/2	好きな果物か野菜の絵
④	7/16	好きなスポーツの絵
⑤	9/3	夏休みの思い出の絵
⑥	9/17	好きな昆虫、魚、その他の絵（図鑑参照）
⑦	10/1	犬山祭りの絵（資料参照）
⑧	10/15	好きなペットの絵（図鑑参照）
⑨	11/5	好きな花、好きな動物の絵（図鑑参照）
⑩	11/19	好きな乗り物の絵（図鑑参照）

講師コメント

- ・今回は、2年目の経験で多くの事を感じることが出来ました。
- ・受講された生徒さんは、小学生1年～3年生が18名、4年～6年生が7名の計25名でした。
- ・子ども達の絵を見ていて、本当に絵が好きで1時間半を集中して一生懸命描く子と、あまり好きでなさそうに時間を過ごす子もいるような気がして、その子達をどう指導するかが大変難しいところです。
- ・描く能力は皆違いますが、下手でも一生懸命に努力して描いている子もいるので、いちがいに上手いから良いというものでもありません。最初の作品は良くなくても最後には上手くなっている子もいます。やはり生徒のやる気を起こさせるのは、指導者の力量だと感じています。
- ・今回の生徒さん達は最初からおとなしく、良い子達ばかりでした。なかなか10回程の講座で良い結果は出せませんが、1人でも絵が好きになって、描く事を続けてくれれば、嬉しく思います。



参加者感想

- ・絵を描く事が楽しいということがわかった。おもしろいと思った。
- ・絵を書く事が大好きなので、とても楽しく行けました。
- ・さいしょはうまくかけなかったけど、だんだんかいているとだんだんじょうずになってきてとてもうれしいです。
- ・やってみて、前より絵がきれいになったと思うし、この講座をえらんでよかったと思う。

⑫和太鼓を たのしく たたこう

参加者数：15名

指導員：柴山豊〔尾張囃子集団〕，井上信一郎，柴山裕子

内容：日本の伝統楽器の和太鼓を学んで、たのしく演奏しよう！

対象学年：小学3年生～中学3年生

活動時間：午後1時30分～4時30分

回	月 日	内 容
①	6/4	小太鼓を使って 楽しくたたこう 楽譜の種類を知ろう
②	6/25	大太鼓を使って 楽しくたたこう 太鼓の種類を知ろう
③	7/16	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう 口唱歌を覚えよう
④	9/10	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう いろんな、たたき方を覚えよう
⑤	10/29	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう いろんな、たたき方を覚えよう
⑥	11/26	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑦	12/24	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑧	1/7	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑨	1/28	発表会での披露曲の練習
⑩	2/4	発表会での披露曲の練習

講師コメント

- ・ 伝統と言う時間と才能が積み上げ、織り成して来た形態には、淘汰されつくした型、様式があり、無抵抗に身を委ねると無理と無駄のない心地よさに包まれます。
- ・ (和太鼓講座)の目指したものは、お稽古ごとの初歩の体験でした。
- ・ これからいろんな習い事を習得しようという君達、そして応援者のご両親のみなさん。
- ・ お稽古ごとは、うまくなること以外に多くの人間形成に必要な学習が含まれています。
- ・ まず、先生の言葉に耳を傾け、集団の規律を重んじ、他人に自分の気持ちを伝える技法を伝統芸能から学び、小さく、芽生える型からはみ出そうと抗う自分を発見し、育み、花咲かせようと葛藤します。
- ・ うまくなるということが目的ではありません。自分なりにやり遂げる事が大事なのです。
- ・ 繰り返しの稽古の中で自然に自分が集団の中の一員であると自覚し始めます。

参加者感想

- ・ 見た目は簡単そうだったが、実際やってみると難しい。でも上手になりたいから、一生懸命やりました。
- ・ 太鼓はただたいて遊ぶだけかたんだと思っていたけど、やってみるといがいとむずかしかったいろいろな歴史やでんとうのたたきかたをしてとてもよかった。
- ・ 大太鼓をやった時、ばちを強く握りすぎて手にマメが出来たけど、「持つのが強すぎだよ」と言われたから、今は手にマメが出来にくいです。
- ・ 最初は難しそうだったが、やってみたら上手に出来たし面白かったから、もっと上手になりたいと思った。



⑬押し花で ものづくり

参加者数：22名

指導員：三谷文子〔押し花千種の会〕、紀藤郁枝

内容：きれいな押し花にふれて、心の豊かさ、やさしさを養い、生活の中の身近な小物をつかって押し花を楽しんでほしい。

対象学年：小学1年生～6年生

活動時間：午前10時～12時

回	月日	内容	ねらい
①	6/4	名札・キーホルダー	ピンセット・ボンドの使い方
②	6/25	花のクリアファイル	予定表やお知らせをはさんで役立てましょう
③	7/9	押し花作り	きれいな押し花の作り方を学びます
④	7/23	飾れるうちわ	見ても使っても楽しいうちわを作りましょう
⑤	8/6	マグネットセット・他	ポストカードなどをはさんで飾りましょう
⑥	8/20	壁掛けスタンド	お部屋飾りのワンポイント
⑦	9/17	ミニティッシュケースにお花を	素敵なケースに変身させましょう
⑧	10/8	額入り作品Ⅰ	2回にわたって作品を作ります
⑨	10/29	額入り作品Ⅱ	前回の仕上げ
⑩	11/12	2017年花のカレンダー	新しい年に素敵なカレンダーを！

講師コメント

- ・ 1時期低学年が半数以上の教室になっていましたが、今年は高学年が増えて、各学年バランスよくなりました。
- ・ 皆さん優しい心で、周りへの気遣いもあり、上級生が下級生の手助けをするなど、ミニ先生に助けられました。
- ・ 学校は違っても、仲良くなっている様子に、心が和む教室になりました。
- ・ それと同時に作品への理解も早く、全員、全作品を仕上げることが出来ました。
- ・ 押し花作成日に保護者の方々にも参加していただいたことにより、これからも押し花を家族で作り、活用して楽しんでいただければと思っています。



参加者感想

- ・ この押し花講座で、身近な花や、ざっそうなどもとても美しいということが分かりました。最近は、「この花は何だろう」と思って、花の名前や花言葉なども自分から調べています。(笑) なによりも、楽しく授業ができるし、先生が優しく教えてくださったり、ほめてくださるのがとてもうれしいです。
- ・ はじめてやってみていろいろつくったりおしぼなをつくったりしてたのしかったです。家でもいっぱいおしぼなをつくりたいです。
- ・ とってもかわいいティッシュケースやファイル、キーホルダー、しおり、うちわができてうれしいです。毎回楽しみにしています。このこうざに入ってもっと花が好きになりました。
- ・ 最初は簡単そうと思っていたけど、やってみたら難しくてたいへんだったけど、今はとても楽しいです。
- ・ 毎回かわいい作品が出来るので楽しい。自分で押し器で花を押せるようになったのでよかった。
- ・ さいしょは、意味が分からなかったけどだんだん意味も分かって楽しくなってきました。三谷先生は、とてもやさしくて分かりやすかったです。



⑭ 楽しもう！！レクスポーツ

参加者数：34名

指導員：林栄五郎・尾藤定・別府良助・遠藤淑子・松山清子〔犬山市レクリエーション指導者クラブ〕

内容：レクリエーションゲーム・レクリエーションスポーツを通して、仲間を思いやる心をはぐくみたいと考え、いろいろな種目を提供します。

対象学年：小学1年生～6年生

活動時間：午前10時～12時

回	月日	内容
①	6/18	ラダーゲッター・シャッフルボード・大縄跳び
②	7/2	ラダーゲッター・シャッフルボード・大縄跳び
③	7/16	ラダーゲッター・シャッフルボード・大縄跳び
④	7/23	ニチレクボール・バグゴ・ムカデタイムレース
⑤	8/27	ニチレクボール・バグゴ・ムカデタイムレース
⑥	9/10	ニチレクボール・バグゴ・ムカデタイムレース
⑦	10/8	カローリング・ディスクゲッター9
⑧	11/12	カローリング・ディスクゲッター9
⑨	12/10	カローリング・ディスクゲッター9
⑩	1/14	レクリエーションスポーツ大会

講師コメント

本講座のねらいは、次の4つである。

- 楽しみながら体を動かし、スポーツをすることの喜びを体感する。
- まと当て競技を通して、活動に対する集中力を養う。
- 自分自身の記録に挑戦し、できたときの成就感を味わう。
- 皆で協力し合うことの楽しさや喜びを実感する。
これらのねらいを達成する為、この講座では、「ラダーゲッター」「シャッフルボード」「バグゴ」「ニチレクボール」「カローリング」「ディスクゲッター9」「キンボール」といったレクリエーションスポーツを行った。

これらのレクリエーションスポーツの特徴

- かなりの運動量がある。
- 活動内容は比較的簡単なので、練習を積み上げ上達できる。
- まとをねらうことで、集中力を養うことができる。

また、現代の子どもたちは、みんなで活動するということがとても苦手なようである。そこで、活動自体がとても楽しいレクリエーションスポーツに子どもたちが夢中になる中で、子どもたちに「声をかけ合うこと」「励まし合うこと」「失敗しても馬鹿にしないこと」「互いに教え合うこと」を繰り返し

はたらきかけ、競技が上達したときには、即座に認め共に喜んだ。その結果、子どもたちは、みんなで一緒に活動すると楽しいことを学び、「みんなが認め合ったとき」「みんなが上達できたとき」の喜びや満足感を味わうことができた。

参加者感想

- ・ はじめたらおともだちがいて、あそんでたらともだちができました。おともだちができてうれしかったです。
- ・ とても楽しいし、体をたくさん動かせるからおもしろいし、これからのレクスポも楽しみです。
- ・ 今までやったことのないスポーツができる。いろいろなスポーツが楽しい。



⑮冒険教室 ～基礎コース～

参加者数：17名

指導員：古澤法之・古澤長流〔ワークショップこころ〕

内容：山登り、川遊び、キャンプにゲーム。

遊びやグループ体験を通じて自信を持ったり、仲間づくりをしましょう。

自分自身に向けた小さな冒険のはじまりです。

対象学年：小学3年生～中学3年生

活動時間：午前9時～12時（宿泊もあり）

回	月日	内 容
①	6/5	「チェックインと、少しフィールド探検」初めて出会う仲間達と、これから何しようか？
②	6/12	「初めてのナイフワーク」木や枝を削ってみる、ナイフ体験で集中力、五感を養う
③	7/3	「初めてのファイヤーワーク」自分だけの小さな火を作る
④	8/7	「フィールド探検 ～川～」 河原を探検しよう。
⑤	8/14	「フィールド探検 ～川2～」
⑥	10/8	「フリーキャンプ(宿泊)」 何をするのか自分達で決める、2泊3日の冒険の旅。
⑦	10/9	
⑧	10/10	
⑨	11/20	「フィールド探検 ～森～」 森を探検しよう。
⑩	1/15	「大きな火のワーク(ふりかえり)」 協力して大きな火を作る。

講師コメント

- ・ 2泊3日のキャンプでは、大人がほとんど口出ししないでやってみました。テント設営に始まり、食材の調達、3日間のスケジュールまで任せました。
- ・ もちろん、多少のアドバイスは行いましたが、高学年の女子を中心に、男の子を上手く使って回していたと思います。
- ・ 基礎コースではキャンプのスキルアップを求めておらず、楽しみながらチームワークを育てていければ良いと考えておりましたが、せっかくの機会ですので、焚き火が上手になったり飯ごう炊飯のスペシャリストになったり、もっとスキルの部分にスポットを当てて良いのかもしれません。来年度の課題とします。



参加者感想

- ・ 山の中に入ったり、川に入ったり、学校や、家ではできない事ができるから楽しい。
- ・ キャンプで、テントをたてるのがたいへんだったです。みんなと交流してたのしかった。
- ・ 2泊3日のフリーキャンプがとっても楽しかった。自分でうまく火をおこせたりテントをたてるのも楽しかった。
- ・ 2泊3日のキャンプのさいしょの日の夜は、お雨だったけど、2日目の朝は石をけずっていました。2日目の夜は空を見ながら寝ました。楽しかったです。
- ・ 川を登ったり岩からおりたりするのが楽しかった。
- ・ 冒険教室へ行ってたくさんの友だちができたし知らないことを知れてすごくうれしい。キャンプでテントをはる時4人で協力してできたからうれしかった。先生がすごくおもしろいから子ども大学が楽しい。いろんな人が遊びにさそってくれてうれしい。



⑩子どもの自然教室 午前の部

参加者数：23名

指導員：古澤法之・古澤長流〔ワークショップこころ〕

内容：身近な森へ入って、野原や川で遊んで、採って、食べて、香って、作って、染めて・・・。

犬山の自然をいっぱい感じてみよう！

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時

回	月日	テーマ	内容
①	6/4	初夏の森たんけん	はじめまして仲間と、森と出会う
②	6/18	葉っぱを食べる	ワイルド食にチャレンジだ
③	7/2	森の恵みでものづくり①～けずる～	自然素材で道具作り
④	7/23	雨でも生き物ががし	雨でも、虫を探しに出よう
⑤	8/13	川ガキになっちゃおう	川遊び、魚捕り ※協力:入鹿森林愛護組合
⑥	9/3	石のペンダントづくり～みがく～	石を削って、美しくみがく
⑦	10/15	自然の色にふれよう～そめる～	身近な植物で染める
⑧	11/19	森のフォトコンテスト～みつめる～	自然をよく見て切り取る
⑨	12/24	森の恵みでものづくり②～しぼる～	自然素材で飾りを作る
⑩	1/14	ありがとう&さよならパーティー	手作りパーティー♪

講師コメント

- ・ 低学年の参加が多いためどうしても、彼らに合わせたプログラム設定となります。
- ・ 自然の中で遊ぶことだけでなく、ナイフで削る、針金で止める、ヒモで縛る、布で磨く等の手仕事も体験しました。
- ・ 手は第二の脳とも呼ばれるほど、子どもの発達に重要なものです。五感の中でも「触覚」を鍛える、良い機会になったのではないのでしょうか。
- ・ 気軽に入れる森が減少している中、相応しいフィールドを見つけるのが喫緊の課題ですが、それと並行して、新たなプログラム作りにも着手していきます。



参加者感想

- ・ 作ったりするだけじゃなく森の中を歩いたり川で虫をとったりしました。また人が作った物ではなく自分一人で手作りをしたこともありました。
- ・ よもぎ入りクッキーがすごくおいしかったし、作っているときもすごく楽しかったです。
- ・ ちがう学校の人と友になりました。
- ・ いろんなことを知れてとってもうれしい。川に入ったのが今までで一番楽しかったです。
- ・ 山の中で虫をとったり、さくらの葉っぱではんかちに色をつけたり、木をけずったりしてはしをつくったりしてとてもたのしかったです。



⑰子どもの自然教室 午後の部

参加者数：22名

指導員：古澤法之・古澤長流〔ワークショップこころ〕

内容：身近な森へ入って、野原や川で遊んで、採って、食べて、香って、作って、染めて・・・。

犬山の自然をいっぱい感じてみよう！

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午後1時30分～3時30分

回	月日	テーマ	内容
①	6/4	初夏の森たんけん	はじめまして仲間と、森と出会う
②	6/18	葉っぱを食べる	ワイルド食にチャレンジだ
③	7/2	森の恵みでものづくり①～けずる～	自然素材で道具作り
④	7/23	雨でも生き物さがし	雨でも、虫を探しに出よう
⑤	8/13	川ガキになっちゃおう	川遊び、魚捕り ※協力:入鹿森林愛護組合
⑥	9/3	石のペンダントづくり～みがく～	石を削って、美しくみがく
⑦	10/15	自然の色にふれよう～そめる～	身近な植物で染める
⑧	11/19	森のフォトコンテスト～みつめる～	自然をよく見て切り取る
⑨	12/24	森の恵みでものづくり②～しぼる～	自然素材で飾りを作る
⑩	1/14	ありがとう&さよならパーティー	手作りのパーティー♪

講師コメント

- ・ 1年生からの参加が認められていることもあり低学年が多いため、それに合わせたプログラム設定になります。6年生が3人きてくれたのですが、よく付き合ってくれたと感謝しています。
- ・ ノコギリを曳く。ナタで割る。ナイフで削る。針金で止める。ヒモで縛る。ネイチャークラフトを通して、こうした仕事にも挑戦してもらいました。みな集中して、根気よくやり遂げましたよ。
- ・ プログラムが少々、マンネリ化してきたので、来年度に向けて新たなものを開発中です。場所とスタッフの関係で、原っぱで跳んだりはねたりとは、なかなかいきませんが、偉大なる自然と触れ合いながら、自然の優しさを味わえるようなものにしたいですね。



参加者感想

- ・ 子ども自然教室をやって、ハンとか弓矢を作って、すごく楽しいです。あと作るのもやっぱりたいへんです。来年もまたやりたいと思っています。
- ・ すごく楽しいから来年もやりたいです。
- ・ はじめてやったことばかりでもとても楽しかったことがいっぱいあります。
- ・ ふだんはあまりできない体験をすることができるので良いなと思いました。また、体験を通して初めて会う人とも仲を深めることができるので楽しいです。
- ・ ものすごいろうしてつくったペンダントはわたしのおきにいりになりました。いつもはじめてやることばかりだったのでうれしいです。
- ・ 石でペンダント作りをやって家にある石で作れるかどうかやってみようと思った。



<犬山しみんていの会自主事業>

犬山原始人クラブ

参加者数：18名

指導員：高林徹雄〔犬山原始人クラブ〕、澤田省吾

内容：火おこし器や縄文土器などのものづくりや自然体験を通し、昔の人の知恵や技を、今の私たちの生活に生かし、たくましく生きる力を身につける。

対象学年：小学4年生～6年生

活動時間：午前9時～12時（終日もあり）

回	月日	内 容
①	6/19	オリエンテーション 火おこし器を作る
②	6/26	火をおこし大会
③	7/2	青竹でパンを焼く
④	7/9	化石博物館で化石採取
⑤	7/23	勾玉作り & 板取川で泳ぐ
⑥	8/2	縄文風土器を作る & 板取川で泳ぐ
⑦	8/6	竹笛作り & 板取川で泳ぐ
⑧	9/4	竹の水筒作り & 板取川で泳ぐ
⑨	10/2	わらじを作る
⑩	10/16	中山道「馬籠～妻籠」を歩く
⑪	10/29	土器の野焼きをする & 芋を焼く
⑫	11/6	土器の窯出しをする & サバメシ
⑬	11/23	つるでかごを作る

講師コメント

- ・ 4年生が多く、わらじやつるかご作りは、材料をうまく使いこなし、作品が出来るか心配であったが、根気強く取り組み、仕上げた。
- ・ 活動時間のうち、物作りの時間がほとんどとなるが、とても集中して取り組み、ノコギリ、ナイフ、電動工具などを使い、子どもたちはとても匠になった。
- ・ 夏は洞戸の「高林工房・森の学校」で活動したが、雨で増水したりで、予定を変更せざるを得なくなったが、川泳ぎは本当に楽しそうで、大岩から飛び込む子ども達の姿に逞しさを感じた。
- ・ 保護者の方が非常に協力的で、多くの方に監視や補助をしていただいた。
- ・ 中山道「馬籠宿」から「妻籠宿」約9kmを自作のワラジをはき、竹の水筒を持って歩いた。誰も弱音を吐かず驚くほど元気に歩いた。子ども達は元気で！たくましい！一番の人気の活動である。

参加者感想

- ・ とてもやりがいがあって、とても楽しくて、とても勉強になってためになる講座だと思った。
- ・ 私は原始人は毎日あんなことをして過ごしていたことを始めて知りました。わらじ作りや、竹の水筒作りをしてそれを持って中山道を歩いた時、原始人の気持ちになったし、周りの人にも好評だったのでうれしいし、いい体験になったなと思いました。
- ・ 今ではできない火おこしきやわらじ、どきなどを作れて良かったです。また、ふだんは行けないみずなみの化石はくぶつかんや板取川などに行けたので良かったです。
- ・ のこぎりとかを使って、物を作ったりすると、けがをすることもありますが、その作った物でいろんな事が出来て、嬉しかったです。楽しかったです。



<「AJOSC」全日本社会貢献団体機構助成事業>

①生き物探検隊 クライマックス 参加者数：16名

指導員：宮田賢輔〔(特) トンボと水辺環境研究所〕, 野田和義

内容：いろんな生き物ゲットしよう！これで君も『生き物博士』だ！

対象学年：小学4年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時（バス移動の回は、午前9時～午後3時）

回	月日	テーマ	内容
①	6/18	クライマックス特製武器作り	後日行う釣りで使う仕掛け作り
②	6/25	外来種VS探検隊	外来種とは？対策について
③	6/25 18時 ～26 7時	特製武器で爆弾釣り &外来種カレー	外来種を釣って食べてみよう！
④	7/3 (バス)	汽水の生き物	汽水とは？汽水の生き物について
⑤	8/20 (バス)	海岸の生き物観察	海岸の生き物の役割
⑥	8/28	貝殻標本とストラップ作り	標本とストラップの作り方
⑦	10/1 (バス)	日本の淡水魚探索	なぜ、岐阜の川には魚が多いのか？
⑧	10/9 (18時～21時)	突撃！ナイトサファリ	夜行性の生き物について、トラップの種類
⑨	10/16 (バス)	海の魚を釣ってみよう	釣り方、どんな魚が釣れるか？
⑩	11/6	守れ犬山の自然！	川を良くするためには？

講師コメント

- ・ 今年も山に川に、そしてクライマックスのみんなは海にいろんな所に突撃しましたね！
- ・ 今年は長雨や暖冬で、特に昆虫が影響をうけ、数が少なかったり、発生時期がずれたりして大変でした。
- ・ 毎年異常気象といわれ、異常気象が普通？になってきました。でもそんな中でも参加者のみんなはそれぞれ魅力的な物を見つけ楽しんでいました。みんな目を輝かせ本当に生き生きしていましたね。
- ・ でも楽しいだけでなくいつもいつてきたことは、人間は生き物達に支えられているのだということ。
- ・ 多種多様な自然、生き物がいるこの犬山を守っていくのは僕達地域の人間の使命です。
- ・ 勉強したことをいかして、小さなできることをさがして、自ら行動してくれたらとても嬉しいです。
- ・ この教室に参加した子たちは知らない間に生き物を守ることを学んでいます。どの生き物がどんなところで、何をたべて、どういう風に繁殖して、死んで・・・いろんなことを体験を通して知ったからです。知っていれば守ることができる。簡単なことなのです。そう私たちが捕まえてきたのは「僕らの地球の未来」なのです！！

参加者感想

- ・ この講座はすごく楽しい。楽しいだけでなく参加していなければ分からないこともたくさん学べます。
- ・ この講座に参加して、いろいろな虫の種類がわかってよかったです。
- ・ ふだん出来ないことをやれて楽しい。いろいろな生物や植物のことを知ることが出来てよかったです。
- ・ 家では連れて行ってもらえない場所や自分だけでは出来ないことも体験できるし、先生や他の大人もすごく楽しくいろいろなことを教えてくださるのでこの講座が大好きです。



②冒険教室（上級コース）

参加者数：20名

指導員：古澤法之〔ワークショップこころ〕、山田美穂、岡本翼

内 容：リュックに衣食住を詰めこんでの山旅、川の源流探索、ダンボールいかだでの川渡り、
耐寒の冬キャンプなどなど、他ではできないワイルドキャンプです。 さあ、自分の限界
を広げよう！！

対象学年：小学4年生～中学3年生

活動時間：午前9時～午後4時（宿泊もあり）

回	月日	テ ー マ	内 容
①	7/24	出会う、知る ～冒険の始まり～	初めて出会う仲間、自分自身と向き合う
②	8/1	チャレンジキャンプ（宿泊） ～ダンボール筏～	チームに分かれて難題にチャレンジ きみはクリアできるか
③	8/2		
④	9/4	源流探索	川をさかのぼってみよう
⑤	10/16	サバイバルキャンプ ～食料を確保する～	食べることは生きること。そのスキルを磨く
⑥	11/5	バックパッキング（宿泊） ～山旅～	ザックを背負って山へ行こう
⑦	11/6		
⑧	12/4	サバイバルキャンプ ～道具を作る～	焚き火、ナイフワーク、ロープワークの再確認
⑨	1/21	冬のファイヤーキャンプ（宿泊）	冬の野営体験をしよう 火を使って寒さに立ち向かえ！
⑩	1/22		

講師コメント

- ・ 上級コースをスタートしてから初めて、日程の途中から参加できなくなった人が出ました。本当の理由はわかりませんが、内容が小学生には厳しくなり過ぎたのかもしれないし或いは、他者との関わりが上手くいかなかったのかもしれないかもしれません。何れにせよ、指導者としてフォローできなかったことを真摯に受け止めたいと思います。
- ・ 子どもたちのポテンシャルが高いので「この程度はできるだろう」と、高をくくっていた部分があったのは事実です。
- ・ 一度立ち止まり、これまでを振り返ってチャレンジ内容を再検討する時期だということでしょう。
- ・ 甘やかすばかりではいけません、それでも冒険を通じて苦労しながら、成功体験を積み重ねることは子どもにとって、とても有意義なものだと思うのです。

参加者感想

- ・ 火起こしの最初の点火が大変だった。ごはんを作るのは大変だと思った。
- ・ チームワークや協力が必要だと思った。
- ・ 家や学校では、なかなかできない体験ができて、とても楽しいです。このけいけんをいかしていきたいです。
- ・ 冒険教室は、いろんな冒険が出来てふだん家では出来ない事が出来るのでよかったです。後は、わたしは外で遊ぶのが好きなので、わたしにはちょうどぴったりだなと思いました。



平成28年度子ども大学 アンケート集計結果(重複回答有)

設問1 参加している講座は？

参加人数 回答数

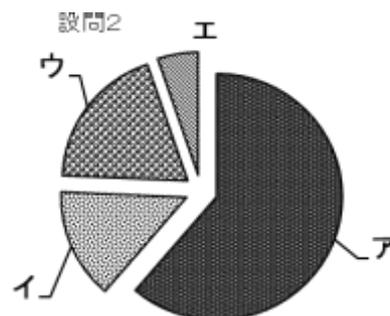
①	国際理解 世界をめぐる子ども達	32	21
②	日本文化にふれよう！ お茶・お花	19	18
③	生き物探検隊 パートⅠ	28	20
④	生き物探検隊 パートⅡ	19	8
⑤	サイエンス 電子工作	20	10
⑥	君も エジソンに なる！	31	16
⑦	はじめての 楽しい陶芸	23	18
⑧	囲碁・将棋たいけん教室	29	22
⑨	伊勢型紙“やさしい 型紙づくり と 型ぞめ”	14	12
⑩	楽しく絵をかこう	26	15
⑪	やさしい 絵画教室	25	17
⑫	和太鼓を たのしく たたこう	15	9
⑬	押し花で ものづくり	22	19
⑭	マットをめがけて 楽しもう！	34	20
⑮	冒険教室（基礎コース）	17	14
⑯	子どもの 自然教室 午前の部	23	21
⑰	子どもの 自然教室 午後の部	22	21
⑱	生き物探検隊 クライマックス	18	11
⑲	犬山原始人クラブ	16	13
⑳	冒険教室（上級コース）	20	9
	計	453	314

アンケート回答率 69 %

設問2

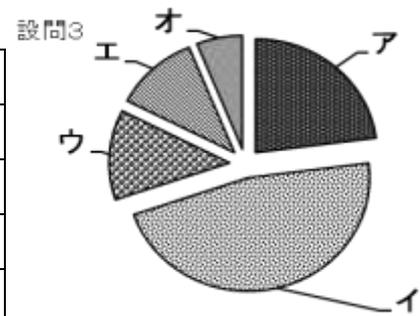
子ども大学参加を決めた理由は？

ア：親にすすめられたから	199
イ：友達が行くから	47
ウ：自分でいきたいと思ったから	62
エ：その他	17



設問3 講座を選んだ理由は？

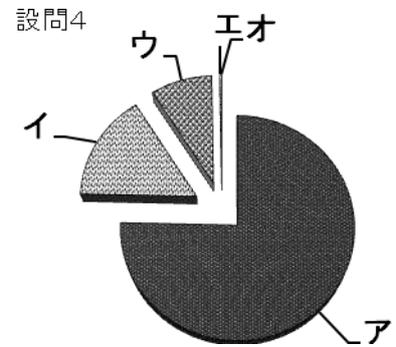
ア：学校や家でできないから	75
イ：おもしろそうだったから	153
ウ：前にもやって、楽しかったから	42
エ：親にすすめられたから	37
オ：その他	20



設問4

参加している講座の感想は？

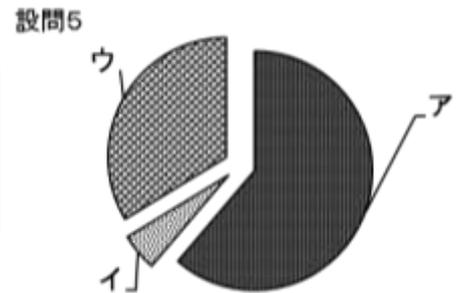
ア：とても楽しい	266
イ：まあまあ楽しい	55
ウ：ふつう	31
エ：あまり、おもしろくない	1
オ：いやいや行っている	0



設問5

子ども大学に来年も参加したいですか？

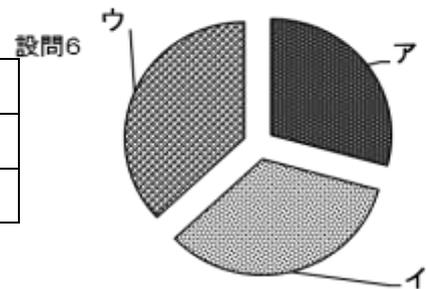
ア：参加したい	193
イ：参加したくない	16
ウ：わからない	106



設問6

来年も、同じ講座に参加したいですか？

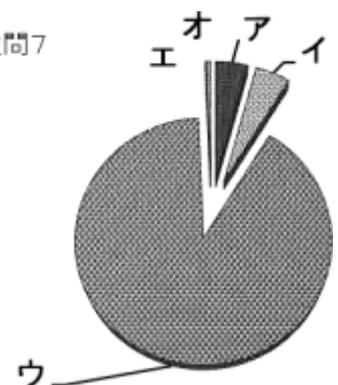
ア：同じ講座がいい	91
イ：違う講座がいい	105
ウ：わからない	115



設問7

講座には、どのような交通手段で行っていますか？

ア：徒歩	13
イ：自転車	14
ウ：保護者の車	278
エ：公共交通手段	0
オ：その他	2

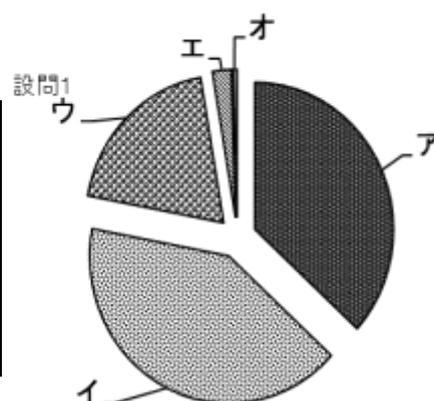


(保護者用)

設問1

お子さんに受講させた動機は？

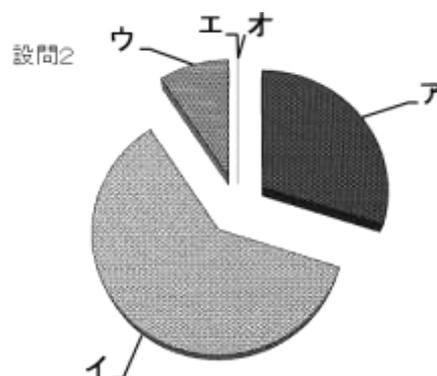
ア：家庭や学校で体験できない	152
イ：子どもがやりたいと言った	170
ウ：いろいろな体験ができる	80
エ：趣味をみつけてほしい	9
オ：その他	2



設問2

お子さんの様子はどうでしたか？

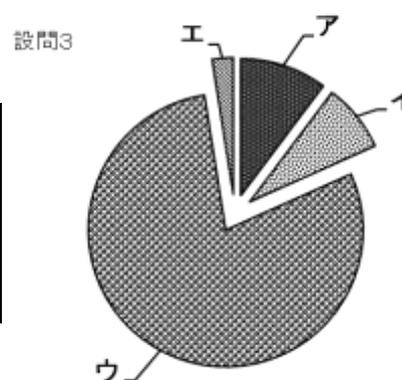
ア：次の回を待ち遠しくしてる	106
イ：楽しそう	215
ウ：普通	33
エ：つまらなそう	0
オ：行きたがらない	0



設問3

講座の会場について

ア：遠い	33
イ：通うのに、不便	26
ウ：特に問題はない	256
エ：その他	8



特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

〒484 - 0082 犬山市大字犬山字北古券甲 98 - 1

TEL : 0568 - 61 - 7710

FAX : 0568 - 61 - 8108

E メール : center@inuyama-shimintei.com

ホームページ : <http://www.inuyama-shimintei.com/>